



熱中対策ウォッチ | カナリア

熱中対策ウォッチ カナリア™は “あなたが熱中症になる前に 音と光でお知らせ”します。

- ・ワンシーズン使い切り
バッテリー寿命3~4ヶ月連続動作
- ・通信機能不要
- ・操作簡単、手首につけるだけ
- ・NETIS登録技術
(NETIS登録番号:KT-200121-A)
- ・特許取得済み技術
- ・管理コスト不要

製品スペック

- ・サイズ：(幅)27mm,(高さ)13mm,(奥行)43mm
 - ・重量：20g
 - ・素材：(筐体)ABS,(ベルト部分)66ナイロン
 - ・防塵・防水性能：IP67
 - ・耐熱性能：~80℃
 - ・振動・衝撃耐性：JIS B7001
 - ・アラーム音量：74dB
 - ・日本製
 - ・ベルト部分付け外し可能
- *本製品は医療機器ではございません。

使い方



腕に巻くだけで、



深部体温の上昇を検知し、



暑熱下でのリスクを、
事前にお知らせ。

アラームが鳴ったら
LEDが赤から緑の点滅に
変わるまで必ず休憩!

子どもから、お年寄りまで。人それぞれに潜む暑熱下でのリスクを、事前にお知らせします。



なぜ暑さによる災害はなくなるのか？

暑さ指数(WBGT計)などのデータを用いた暑さ環境の把握と
注意喚起だけの対策では熱中症を防ぐことは難しいという課題があります。



三宅 康史 Yasufumi Miyake
帝京大学医学部教授
帝京大学医学部附属病院高度救命救急センター長
熱中症の診療、研究、啓発活動に広く係っている。

熱中症は環境因子と個人の因子が重なって起こります。
気温、湿度、WBGTなど環境の危険因子は、天気予報や備え付けの温度計
などから収集できますが、自分自身の状態は、意識、血圧、脈拍、
体温などのバイタルサインをその都度チェックする必要があります。

これからの熱中症対策

個人の見えない体調の変化に着目し、「熱中対策ウォッチ カナリア™」は
深部体温の上昇をとらえ、独自のアルゴリズムで熱中症を未然に防ぐことを可能にします。

① 熱中症は深部体温の上昇で発症

熱中症は、高温多湿な環境や活動などにより深部体温(脳や臓器、血液の温度)が
上昇し、その熱をうまく外に逃がすことができずに生じるさまざまな症状の総称です。

② 熱中症を未然に防ぐ仕組み

深部体温を推定する技術

人間は深部体温を一定に保つメカニズム
があり血液が身体中に温度を運んでいます。
Biodata Bank では表面温度をベースとし、
体内の熱の動きを推定するセンサーと合わ
せて深部温度を推定しています。(特許取得
済み)

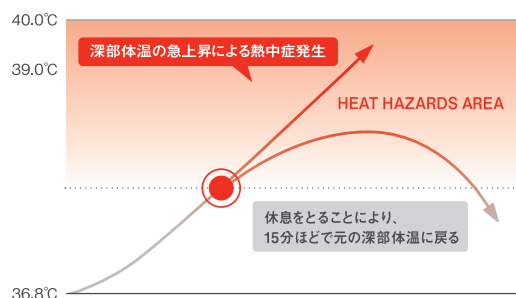


熱中症防止アルゴリズム

暑熱下での運動や労働によって深部体温
が上昇すると、その温度を血液が運びます。
血液が運んだ温度は表面温度にも影響され
表面温度が上昇します。体内の熱の動き
から表面温度の変化を予測し、熱中症に
なる前にアラームを鳴らします。

③ アラームの鳴るタイミング

厚生労働省は深部体温が38℃を超えた場合
危険と定めています。カナリアは個人差を考慮し、
熱中症の二歩手前を目安にアラームが作動します。
アラームが鳴ったら塩分・水分補給や休息をとる
ようにしてください。



製造・販売元

Biodata Bank 株式会社

〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町29番17号
TEL:03-6416-4924 FAX:03-6416-4926
<https://biodatabank.co.jp/>

Biodata bank

